

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成27年10月29日(2015.10.29)

【公開番号】特開2014-55198(P2014-55198A)
 【公開日】平成26年3月27日(2014.3.27)
 【年通号数】公開・登録公報2014-016
 【出願番号】特願2012-199040(P2012-199040)
 【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月4日(2015.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

顔料前駆体および顔料合成時の副生成物の含有量が5重量%以下であるであるイソインドリン系顔料(2)と、顔料分散剤と、モノマーとを含有することを特徴とする活性エネルギー線硬化型インクジェットインキ。

【請求項2】

イソインドリン系顔料(2)が、C . I . P i g m e n t Y e l l o w 1 8 5であることを特徴とする請求項1記載の活性エネルギー線硬化型インクジェットインキ。

【請求項3】

モノマーが、EOまたはPOを主骨格としたモノマーをインキ全量中に40~90重量%含有することを特徴とする請求項1または2記載の活性エネルギー線硬化型インクジェットインキ。

【請求項4】

さらに、有機溶剤をインキ全量中に10重量%以下含有することを特徴とする請求項1~3いずれか記載の活性エネルギー線硬化型インクジェットインキ。

【請求項5】

合成後のイソインドリン系顔料(1)を溶剤で洗浄し、顔料前駆体および顔料合成時の副生成物の含有量が5重量%以下であるであるイソインドリン系顔料(2)を得、前記イソインドリン系顔料(2)と、顔料分散剤と、モノマーとを混合することを特徴とする活性エネルギー線硬化型インクジェットインキの製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

すなわち本発明は、顔料前駆体および顔料合成時の副生成物の含有量が5重量%以下であるであるイソインドリン系顔料(2)と、顔料分散剤と、モノマーとを含有することを特徴とする活性エネルギー線硬化型インクジェットインキに関するものである。

さらに本発明は、イソインドリン系顔料(2)が、C.I.Pigment Yellow 185であることを特徴とする上記活性エネルギー線硬化型インクジェットインキに関するものである。

さらに本発明は、モノマーが、EOまたはPOを主骨格としたモノマーをインキ全量中に40~90重量%含有することを特徴とする上記活性エネルギー線硬化型インクジェットインキに関するものである。

さらに本発明は、さらに、有機溶剤をインキ全量中に10重量%以下含有することを特徴とする上記活性エネルギー線硬化型インクジェットインキに関するものである。

さらに本発明は、合成後のイソインドリン系顔料(1)を溶剤で洗浄し、顔料前駆体および顔料合成時の副生成物の含有量が5重量%以下であるであるイソインドリン系顔料(2)を得、前記イソインドリン系顔料(2)と、顔料分散剤と、モノマーとを混合することを特徴とする活性エネルギー線硬化型インクジェットインキの製造方法に関するものである。